

令和2年度公益財団法人紫雲奨学会事業実績書

1 理事会・評議員会等の開催

- (1) 令和2年度第1回公益財団法人紫雲奨学会理事会
(令和2年6月5日(金) 理事10名全員及び監事2名全員の同意書による決議)
 - ① 令和元年度公益財団法人紫雲奨学会事業実績報告
 - ② 令和元年度公益財団法人紫雲奨学会収支決算報告
 - ③ 監査報告(自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
 - ④ 任期が満了する9名の理事及び1名の監事について再任することを評議員会に諮ること。
任期が満了する評議員1名について再任することを評議員選定委員会に諮る(推選する)こと。
 - ⑤ 評議員会により第4号議案のとおり任期満了の理事9名及び監事1名が再任された場合、理事長 横山賢治 が辞任し、後任の理事長に、理事 中筋政人 を、副理事長に、理事 梶正司を選定すること。
 - ⑥ 行政庁への提出書類作成及び報告業務について大西理事に委託し、手数料の支払を行うこと。
- (2) 令和2年度第1回公益財団法人紫雲奨学会評議員会
(令和2年6月19日(金) 評議員9名全員の同意書による決議)
 - ① 令和元年度公益財団法人紫雲奨学会事業実績報告
 - ② 令和元年度公益財団法人紫雲奨学会収支決算報告
 - ③ 監査報告(自平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
 - ④ 任期が満了する9名の理事及び1名の監事について再任すること。
 - ⑤ 任期が満了する評議員1名について再任することを評議員選定委員会に諮る(推選する)こと。
- (3) 令和2年度公益財団法人紫雲奨学会評議員選定委員会
(令和2年6月19日(金) 17:00～ 香川県立高松商業高等学校 応接室
評議員選定委員5名全員出席)
 - ① 理事会及び評議員会から推選された評議員候補者1名について説明があり、審議の結果、候補者1名を評議員に選任することが全会一致で議決承認された。
- (4) 令和2年度公益財団法人紫雲奨学会奨学生選考委員会
(令和2年7月16日(木) 16:15～ 香川県立高松商業高等学校 応接室
選考委員8名全員出席)
 - ① 1年生の奨学生希望者2名について、1学年主任より家庭状況・人物・成績等の説明があり、協議の結果、2名を奨学生候補者として理事会に推薦することが全会一致で議決承認された。
- (5) 令和2年度第2回公益財団法人紫雲奨学会理事会
(令和2年8月7日(金) 16:00～ 香川県立高松商業高等学校 会議室
理事10名全員出席、監事2名全員出席)
 - ① 第1回理事会の決議について、書面における提案内容に対し、理事全員及び各監事から同意書の提出があり、令和2年6月5日に各提案を可決する旨の決議があったも

のとみなされたことが報告された。

- ② 第1回評議員会の決議について、書面における提案内容に対し、評議員全員から同意書の提出があり、令和2年6月19日に各提案を可決する旨の決議があったものとみなされたことにより、任期満了となる9名の理事及び1名の監事の再任が承認されたことが報告された。
- ③ 第1回評議員会の決議で任期満了となる9名の理事及び1名の監事の再任が承認されたため、第1回理事会の決議に基づき、横山理事長が辞任し、後任の理事長を中筋政人が務めること及び梶理事が引き続き副理事長を務めることが報告された。
- ④ 評議員選定委員会における評議員候補者1名の選任結果が報告された。
- ⑤ 奨学生選考委員会で推薦された奨学生候補者について協議した結果、推薦された候補者2名を奨学生とすることが、全会一致で議決承認された。
- ⑥ 行政庁への提出書類作成及び報告については、行政書士である大西理事に業務を委託し、手数料の支払を行うことが、全会一致で議決承認された。
- ⑦ 現在までの寄附金、賛助会員・寄附者一覧について報告があった。
- ⑧ 理事長より、新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況悪化に対し、修学困難な生徒の経済的負担の緩和が行えるよう、全国大会出場助成が減額となる部分を財源に、生徒15名に対し2万円の臨時的な奨学金の給付を行う計画についての説明があり、新たに臨時的な奨学金給付を行うことを決定した。
- ⑨ 令和2年度パンフレットの作成案について協議を行った。
- ⑩ 令和元年度助成備品の設置・使用状況等が報告された。令和2年度前期は備品助成を行わないことを確認し、寄附金については、マイクロバスへの助成及び新型コロナウイルス感染症に係る新たな臨時的奨学金を優先し、余剰が生じた場合に備品助成を行うことを決定した。
- ⑪ 理事長及び再任した評議員・理事・監事の登記を行政書士である大西理事に委託することが報告された。
- ⑫ 理事長及び副理事長の業務執行状況が報告された。

(6) 令和2年度第2回公益財団法人紫雲奨学会奨学生選考委員会

(令和2年10月22日(木) 17:30～ 香川県立高松商業高等学校 応接室
選考委員8名全員出席)

- ① 1年生の奨学生希望者1名について、1学年主任より家庭状況・人物・成績等の説明があり、協議の結果、1名を奨学生候補者として理事会に推薦することが全会一致で議決承認された。

(7) 令和2年度第3回公益財団法人紫雲奨学会理事会

(令和2年10月23日(金) 15:30～ 香川県立高松商業高等学校 会議室
理事10名のうち8名出席、監事2名のうち1名出席)

- ① 奨学生選考委員会で推薦された奨学生候補者について協議した結果、推薦された候補者1名を奨学生とすること及び奨学金給付については4月に遡って行うことが、全会一致で議決承認された。
- ② 臨時的奨学金の名称は「令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況悪化に係る臨時的奨学金」とすることとし、給付の実施にあたっては、奨学金給付規程の一部を改定するとともに、実施要領を定めて対応することについての説明があった。協議の結果、奨学生の人数は予算の範囲内で給付可能な人数を上限とすること及び奨学金返還事案については令和2年度を対象とすること、奨学生については、奨学生選考委員会の選考を経て、理事長が決定することを確認し、原案どおり全会一致で議決承認された。
- ③ 賛助会員及び寄附の現状について報告があった。

- ④ 令和2年度パンフレットについて報告があった。
 - ⑤ マイクロバス運行状況及び助成状況等が報告された。
 - ⑥ 副理事長より奨学生の学習状況と生活状況等の報告があった。
 - ⑦ 理事長及び副理事長の業務執行状況が報告された。
- (8) 令和2年度第3回公益財団法人紫雲奨学会奨学生選考委員会
(令和3年2月1日(月) 16:45～ 香川県立高松商業高等学校 応接室
選考委員8名全員出席)
- ① 令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況悪化に係る臨時的奨学金の奨学生希望者10名(1年生3名・2年生3名・3年生4名)について、各学年主任より家庭状況・人物・成績等の説明があり、協議の結果、10名を奨学生候補者として理事長に推薦することが全会一致で議決承認された。
- (9) 令和2年度公益財団法人紫雲奨学会課外活動助成選考委員会
(令和3年3月3日(水) 17:30～ 香川県立高松商業高等学校 会議室
選考委員10名全員出席)
- ① 今年度の助成備品について各部より特段の要望はなかったが、弓道場やトレーニングルーム、新しく整備される南体育館等での部活動時の暑さ対策が必要であるため、その対応に用いることが可能なスポットクーラーの導入について事務局から説明があり、各委員が内容を確認し、検討を行った後、スポットクーラーを助成希望とすることとし、理事会に諮ることとした。
- (10) 令和2年度第4回公益財団法人紫雲奨学会理事会
(令和3年3月4日(木) 16:00～ 香川県立高松商業高等学校 会議室
理事10名全員出席、監事2名全員出席)
- ① 令和2年度収支決算見込について協議し、原案どおり承認された。
 - ② 令和3年度収支予算(案)について協議し、原案どおり議決承認された。
 - ③ 令和3年度事業計画(案)について協議し、原案どおり議決承認された。
 - ④ 第2回評議員会の開催日程、場所及び議案等について協議し、上記①、②及び③に係る評議員会を、3月22日に高松商業高校で開催することが議決承認された。
 - ⑤ 課外活動助成選考委員会の協議内容が報告され、スポットクーラーを助成備品として購入することが全会一致で議決承認された。
 - ⑥ 行政庁への変更手続き及び提出書類作成、報告業務等については、行政書士である大西理事に業務を委託し、手数料の支払を行うことが、全会一致で議決承認された。
 - ⑦ 令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況悪化に係る臨時的奨学金について応募及び選定状況に関する説明があり、10名に各2万円を給付したことについて報告があった。また、理事長から奨学生の選定について報告があった。
 - ⑧ 任期満了となる役員について説明があり、該当1名の理事及び1名の監事に再任の意向を確認した。
 - ⑨ 寄附及び賛助会員の状況について報告があった。
 - ⑩ マイクロバスの運行及び助成状況について報告があった。
 - ⑪ 全国大会出場部活動等助成一覧について説明があった。
 - ⑫ 副理事長より奨学生の学習状況及び生活状況、臨時的奨学金の給付を受けた奨学生やその家族からの謝意等についての報告があった。
 - ⑬ 理事長及び副理事長の業務執行状況が報告された。
 - ⑭ 事務局より基本財産である国債の一部が令和4年6月に満期になることについて周知があり、今後、他の公益財団法人の資産運用等も参考にしながら、スケジュールを

立てて対応することを全会で確認した。

- (11) 令和2年度第2回公益財団法人紫雲奨学会評議員会
(令和3年3月22日(月) 16:00～ 香川県立高松商業高等学校 会議室
評議員9名の内8名出席)
- ① 令和2年度決算見込について協議し、原案どおり承認された。
 - ② 令和3年度収支予算(案)について協議し、理事会で議決承認された原案どおり議決承認された。
 - ③ 令和3年度事業計画(案)について協議し、理事会で議決承認された原案どおり議決承認された。
 - ④ 令和3年度収支予算及び事業計画の微細な修正については理事長に一任することを諮り、全会一致で議決承認された。
 - ⑤ 令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況悪化に係る臨時的奨学金について、実施の経緯及びそれに伴う奨学金給付規程の一部改訂、実施要領の制定、応募及び選定状況に関する説明があり、10名に各2万円を給付したことについて報告があった。また、理事長から奨学生の選定について報告があった。
 - ⑥ 任期満了となる評議員7名について、辞意を示している1名を除く、6名について再任の意向を確認した。
 - ⑦ 寄附及び賛助会員の状況について報告があった。
 - ⑧ マイクロバスの運行及び助成状況について報告があった。
 - ⑨ 全国大会出場部活動等助成一覧及びスポットクーラーを課外活動助成備品として購入したことについて報告があった。
 - ⑩ 副理事長より奨学生の学習状況及び生活状況、臨時的奨学金の給付を受けた奨学生やその家族からの謝意等についての報告があった。
 - ⑪ 理事長及び副理事長の業務執行状況が報告された。
 - ⑫ 令和2年度第2～4回理事会での議決事項及び協議内容等について報告があった。
 - ⑬ 事務局より基本財産である国債の一部が令和4年6月に満期になることについて周知があり、今後、他の公益財団法人の資産運用等も参考にしながら、スケジュールを立てて対応することを全会で確認した。

2 公益事業の実施

- (1) 奨学金の給付事業 年間総額 1,280,000円
- ① 奨学生 各学年3名(全校で9名) 月額1名あたり10,000円
(10,000円 × 9名 × 12ヶ月 = 1,080,000円)
 - ② 令和2年度新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況悪化に係る
臨時的奨学金 臨時的奨学金奨学生(全校で10名) 1名あたり20,000円
(20,000円 × 10名 = 200,000円)
- (2) 生徒の課外活動に関する助成事業 年間総額 1,362,504円
- ① 全国大会出場助成 合計 88人 440,000円
 - ・令和2年10月30日に課外活動助成金の贈呈式を実施した。
 - 全国高校定通信制生徒生活体験大会参加者1名 5千円/人 5,000円

・令和2年12月17日に課外活動助成金の贈呈式を実施した。

全国高校バスケットボール選手権大会等参加者57名 5千円/人 285,000円

・令和3年3月4日に課外活動助成金の贈呈式を実施した。

全国高等学校選抜大会等参加者30名 5千円/人 150,000円

② 課外活動用マイクロバスへの助成 合計 500,000円

③ 備品の助成 合計 422,504円

スポットクーラー 5台 422,504円